

12 THE KOBECOCO

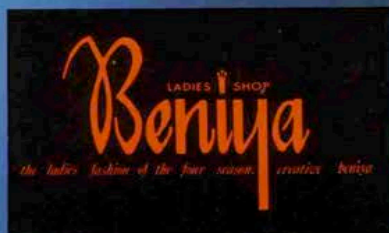
DECEMBER 1975 NO.176 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和50年12月1日印刷 通巻176号
昭和50年12月1日発行 毎月1回1日発行



JOYEUX NOËL

《クリスマスおめでとう》



神戸	
三宮センター街	332-2135
ベニヤエルベ(センタープラザ)	332-2829
さんちかレディスタウン	321-2678
大阪	
梅田阪急三番街	372-8093
上本町近鉄百貨店 2F	779-1231
ミナミ地下センター	213-6128
東京	
日本橋東急百貨店 1F	211-0511
渋谷別館バルコ 3F	476-2348

PHOTO / 藤原保之 モデル / 林あや子

クリスマスの真珠。



の宝石店
MIKIMOTO


神戸店＝三宮・神戸国際会館 TEL.221-0062
大阪店＝新大ビル TEL.341-0247

京都支店＝河原町蛸薬師BAL TEL.341-2570

大阪＝阪急・阪神・高島屋・松坂屋・大丸

近鉄アベノ店・近鉄上六店

本店＝東京・銀座4丁目 TEL.535-4611

 株式会社ミキモト





見つめているうちに、
ついに分裂して二つの生物になってしまった。
小さい新しい生命は活発に動きまわる。
小さい方のオーナメントが上下に動いて、
チェーンの様相を楽しく変化させる。
18Kとホワイトゴールドとラピスラズリのペンダント
¥380,000

■本社

神戸市葦合区旗塚通6-3-10 Tel. 231-3321

■神戸外商部

神戸市葦合区旗塚通7-1-7旗塚ビル Tel. 231-3321

■パールファーム神戸

神戸市灘区鶴甲3-12-41 Tel. 882-0107

■さんプラザ店

神戸さんプラザビル3F Tel. 391-4085

■大阪支店

大阪市南区安堂寺橋通3-38-2南大和ビル Tel. 253-0165

■大阪プラザ店

大阪ホテルプラザ内 Tel. 458-2449

■福岡支店

福岡市中央区赤坂1-11-13大稲ビル Tel. 781-5161

カタログご希望の方は東京都港区赤坂1-3-5

田崎真珠販売促進部までご請求下さい。

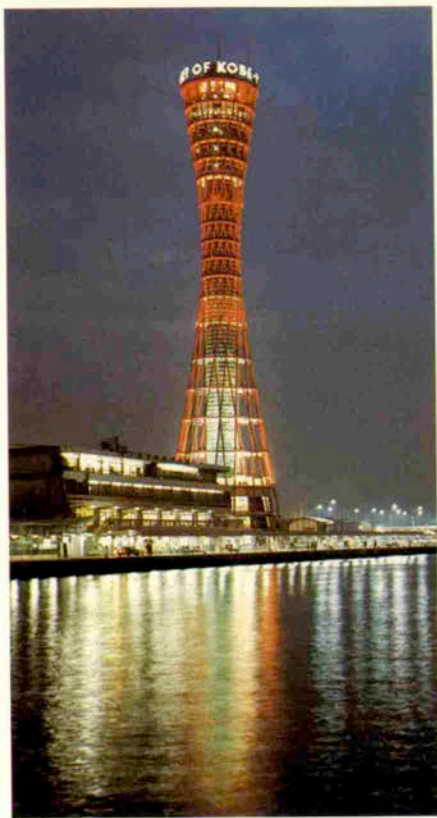


あなたの真珠は

パールマークのお店で

TASAKI PEARLS
田崎真珠

FANTASY KOBE <12月>



蒼黒色の夜空 輝く星
暮れ残る花壇に咲く白い花



... 宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に
応いておりますのでお気軽にご利用下さい。
定休日は水曜日です。

新しさを常に求めて

平岡基子

（田崎真珠工芸部）カメラ・米田定蔵

小柄でヤングっぽい平岡さんが新人の登竜門ともいえる本年度「ダイヤモンド・デビュース・デザイン・コンテスト」（国内選）の一等賞（A部門）に入賞したのはこの一月。何かの賞に入るかも……との期待はあったが一等賞は望外の喜びであった。勤続二年。日頃の仕事はときどきの企画のテーマに合わせて新しいデザインを考案すること。京都美大日本画科卒業。が、日本画は性に合わなかった。元永定正、河口龍夫、植松奎二——これらモダンアートの旗手たちが彼女の氣に入っている作家なのだ。彼女の場合、新たなモチーフはたとえオートバイのバックミラーの棒に当たった太陽光線の反射とか、椅子の或る部分とかと自分の好きな形との噛み合わせによって生まれる。無機質の造形物からインスピレーションを受けるのだろうか。だから京都にいたときも古寺巡礼は視野の外にあった。新しいデザインの建造物に心魅かれていた。仲間とモダンアートのグループ展も開いた。そこでもアクリル系の絵具を使うなど常に新しい試みに挑戦してやまない。彼女がヤングっぽく見えるのも恐らく新しいものを求めてやまない内なる情熱のなせるわざなのだろう。26歳。

（パールファーム神戸にて）



DOROTHEE BIS COLLECTION SPRING & SUMMER

76春夏オールスタイルファッション情報

ドロテビス76春夏のフレタボルテコレクションは、10月22日、パリのはずれ(中心より地下鉄を乗りついで約20分)のバレドロングレ(palais des congres)の中ホールで、プレス・バイヤーをふくめた2、3千人の観客のなか、行われました。

ドロテビスは御存じの方も多いと思いますが、ブランドの名で、デザイナはジャクリーヌヤコブソンという女性です。ショーはまずコートイング素材のスポーティなコートを覆面風にスタイリングした数人のモデルの登場でオープニングします。常に新鮮な感覚と意表をついたアイデアでパリのフレタをリードするジャクリーヌに観客は拍手を送り、ショーの進行に期待を寄せます。ショーは賢三や一生よりやや平静でおちついた感じの進行ですが、ジャクリヌが強調したものを簡単に整理しますと――

白を基調とした非常にスポーティなサマーセーター。ゆったりとしたビッグでヒップが完全にかくれた裾とえりに大胆なカラーアクセントがついたもの、アクティブで茶目のあるものが多いようです。素材は綿タイプが中心。

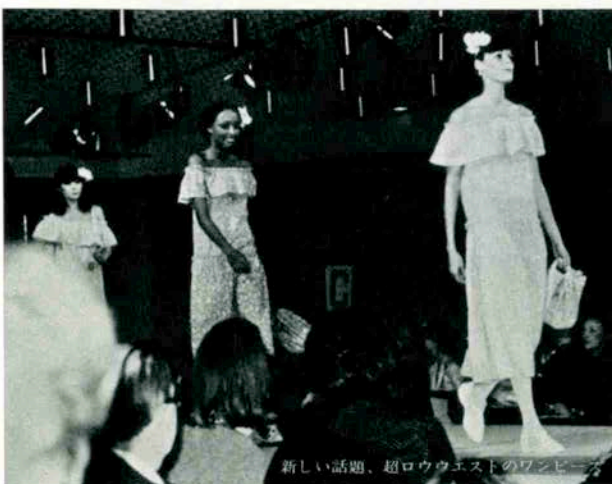
やはり白(生成)をボディ色に太い横縞のもの、また多彩色の細い横縞など縞が強調されていました。素材は(ボイル、デシン、ジョーゼット)などでした。プリント関係は、インドネシアやカリブ海、南米、アフリカを連想させる色と柄。

全体のカラー傾向は、白を基本に、アクティブ、スポーティブで、すっきりとした傾向と、反面、ヴィビッドで強烈なトロピカルな原色、ペールトーンや甘い感覚のものは影をひそめています。

シルエットとしては、トップはまだまだゆったりとした全体にビッグ。ボートネックが多いようです。ボトムは、スリムなパンツが強調されています。

76SSの新しいものとして、超ロウウエストを細い紐で強調したプリントジャージーのワンピース・スーツがあります。ソニアリキエルもとりのれたと聞きましたから、今後、新しい話題となるかもしれません。

鈴木 力 (オールスタイル関東支社マーケティング室)



新しい話題、超ロウウエストのワンピース



色と柄に注目!



アクティブなワンピース



オールスタイル

神戸市生田区伊藤町121 ☎ 321-2111

ニューオリンズから

末広光夫

（ジョー関西プロデューサー）カメラ・米田定藏

ODJC（オリジナル・デキシーランド・ジャズ・クラブ）四代目会長である。師とする評論家油井正一氏が「末広さん、あとは頼むで」といって東京へ移った。発奮。以来、日本のジャズ発祥地神戸でデキシーの育成に奔走。一九六六年に、ニューオリンズラスカルズ、当時のODJC会長小林順氏ら8人でアメリカ・ニューオリンズへ渡って二週間滞在。ラスカルズの演奏に喝采。日本人のデキシー、本場への初乗込みである。その渡米の二カ月前、第一回全日本デキシーランドジャズフェスティバルを芦屋奥池で開催。デキシーは神戸で育っていた。全日本といえどもすべて神戸を中心とした関西のバンドである。このフェスティバル、今年で第十回を迎えた。そして今年、ニューオリンズ市長から「ニューオリンズ名誉市民」の称号、ニューオリンズジャズクラブ・ジャズ博物館から「感謝状」が末広さんに届いた。「全くのお遊びですよ。ショーですわ」と語る。しかし、ハートウオーマーズが生れラスカルズが育ち、多くのデキシーファンが成長した神戸での末広さんの貢献は大きい。この受彰も不思議ではない。

（ローハイドにて）



'75 Christmas Party



レストラン北野クラブ
お食事とダンスとショーを
お楽しみ下さい。

12.21(日)～12.25(木)

5:00 P.M.～

お1人様 ¥10,000

2F レストランでのお食事

1F ナイトクラブの

テーブルチャージ

ショーチャージ

税 サービス料込

ナイトクラブ北野クラブ

ワインとダンス

ショーをお楽しみ

下さい。

12.21(日)～12.25(木)

6:00 P.M.～

お1人様 ¥10,000

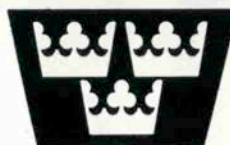
ワイン、オードブル、テーブルチャージ

ショーチャージ 税、サービス料込

Stockholm

Blanc de Blanc

Kitano Club



年中無休
駐車場有り

レストラン

ブラン ドゥ ブラン

クリスマス・スペシャル

ディナーをお楽しみ下さい。

12.21(日)～12.25(木)

5:00 P.M.～

お1人様 ¥10,000

クリスマス スペシャル ディナー、

お飲物、税、サービス料込。

☆只今パーティー券の前売中、お早目にお申込下さい。

ナイトクラブ・レストラン

神戸 北野 クラブ

神戸市生田区北野町1丁目64

TEL(078)231-2251

レストラン

神戸 ブラン ドゥ ブラン

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F

TEL(078)321-1455



レストラン ストックホルム

東京都港区六本木6-11-9 スウェーデンセンター

Phone 403-9046



赤艸社

赤艸社（せきそうしや）。創立50周年を迎えた。戦時中、中断した時期こそあれ、アマチュアの画家たちが何十人と参加するグループがこうも永く続くことさえ珍しい。


大正15年10月、神戸三越で第1回展を開催。以後、会場は変わりながら、そして帝展、文展、光風会、国画会などに会員、会友を出しながら歩み、今年10月、県立近代美術館で第38回展を開いた。

日本最初の女性洋画家、亀高文子さんや渡辺一郎さんの暖かい指導のもとに毎土・日曜日、夙川のアトリエに集ってくる会員たち。現在は優に80人を越える。その会員たち。子供の頃からの会員、親子二人続いた会員が多い。そのためか非常にファミリーな雰囲気。絵を離れたところでも「ミツチャン」「マキチャン」と呼びあう。

絵のころ。

「赤艸社のうた」（詩・藤井治彦、曲・角迪子）にこうある――

ひかりとかげ 静かに
もののまこと えがけば
胸はたかく おどる
よろこびに 声はずませ
ともどもに 語るつどい
（28ページもごらんください）



開こう。
扉《人生》を
キミの手で。

適性適職で豊かな人生を。
優れた人材を。優れた企業に。



若年者〈人材銀行〉

日本ヒューマナイザー

就職希望の方は

☎ (078) 331-0623へ

神戸市生田区海岸通9の2
チャータード銀行ビル3階

Office in KOBE

door series V

三菱銀行神戸支店
〈神戸大丸車角〉

★シアトル・コーナーがオープン

11月4日、さんちかタウンの「インフォメーションコウベ」でシアトル・コーナーの開所式が行われた。式は午前10時から始まり、マール・アドラム・シアトル港湾委員長と宮崎辰雄神戸市長のあいさつのあと、ジェイ・アップハイム・シアトル港総支配人、池田正治神戸市港湾局長がテープカット、続いてゴードン・クリントン都市提携委員会名誉委員長（元シアトル市長）にクイーン神戸から花束が贈られた。

続いて、このほどシアトルから贈られたトーテム・ボールの除幕がアドラム委員長と宮崎市長の手で行われた。このトーテム・ボールは11日まで同所におかれ、その後、森林植物園のシアトルの森へ移された。

★旧ハンター邸、一般公開

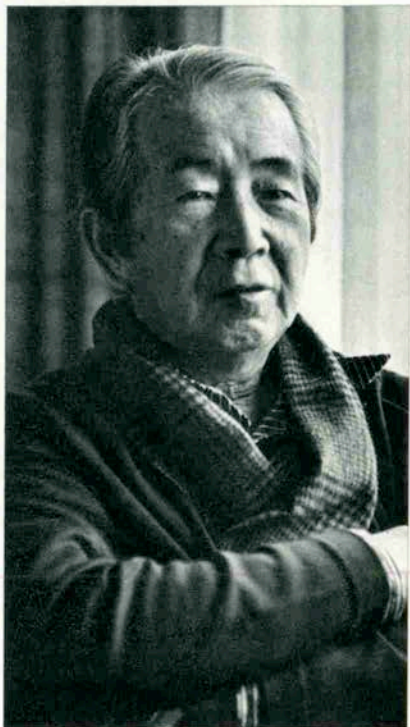
11月3日から9日まで「旧ハンター住宅」が一般に公開された。現在、王子動物園の東隣（灘区王子町3丁目）にあるこの異人館は現存する神戸の異人館のなかでは最大規模のものであり、元は北野町にあったが、昭和38年に現在地に移築された。39年に県指定重要文化財、41年に国指定重要文化財に指定されている。

旧ハンター住宅が一般公開されたのはこれが初めてであるが、初日からどっと人が押しかけ、入場制限のため長い列をつくって待つ光景も見られた。明治期の優雅な外人生活をしのばせる大理石のマントル・ピースやブロンズのシャンデリアや階段途中のステンドグラスなどに熱心に見入る人たち、記念撮影をする人たちなど普段とはうって変ったの賑やかさだった。

写真上／トーテムボールの話をするアネット・バス
コー都市提携委員会副委員長

写真下／旧ハンター邸の前でいこう人々





KOBECCO GALLERY <24>

神戸っ子 ギャラリィ

小磯良平

日本洋画壇の巨匠、小磯良平画伯、72才。

一九二八年(25才の時)渡欧。足かけ三年間の留学生生活をしたわけだが、「竹中君(詩人の竹中郁氏)が約一ヶ月ほど先に着いててね、彼らはものおじしない性格だからマルセイユまで迎えに来てくれた上、物知り顔に街を案内までしてくれて……」と楽しそうに語って下さる。

画伯の描く絵のテーマはほとんど人物画。その大らかで明るい画風と構成力の確かさは定評のあるところ。ことに婦人像は豊かで温かい。「女性はいし、凸凹があるので絵になる」そうだ。女性美を考えながらテーマをひき出していくね。コスチュームなども自分で考えて描くから大ざっぱな知識しかないのでも自分で考えて描くところとあとで見たら変なところにシワがあったりして……。日本画で昔から花なら花の形式美があるでしょう。私たちが写生して描いた花が写実的に描いたにもかかわらず、その花らしく見えない。あれは色んな人が考えて手を加えて来て出きた一つのスタイルだから、本当にきれいな姿を最大公約数的にとらえて出来たスタイル。毎日、デッサンをくり返して人物画でも無駄な所、誤ったところを発見しますね。

東京芸大で教壇につくこと19年。「学生とは会話はしたけ

ど講義はしなかった」という。

昨年三月、新装の赤坂離宮迎賓館二階大ホールの壁画を完成された。謁見の間の入口の左右の壁画を飾る一つはアトリエの画学生たちを描いた「絵画」。もう一つは音をあわせる音楽学生たちを描いた「音楽」。男女大勢の若ものたちが、がしりとした画面構成のなかで描かれている。それは若ものたちを暖かい眼で抱えた小磯画伯の画境ならではの、そして国賓を迎えるにふさわしい素晴らしい壁画であつた。

こいせりようへい
●一九〇三 神戸に生まれる ●一九二二 東京美術学校西洋画科(現 東京芸
術大学)へ入学 ●一九二五 藤島教室に学ぶ ●第六回密展出品(現 東京芸
術大学)初入選 ●一九二六 「丁子の香」(五〇号) ●第七回密展出品 ●兄妹(三
八)四月渡仏 同行者中 友人に中西利雄 ●一九二九 サロン・ド・トロントに
「アム・ア・シヤール」(肩掛の女)(八〇号)出品 ●一九三二 「戴安娜(二二
二〇号)が第十三回密展特選 買上げ ●一九三六 新制作展協会の創立とともに
に官展を脱退して同協会の創立委員となる ●一九三七 「人々」(二〇〇号)
(戦災で消失) ●制作 「我馬」新制作展出品 ●一九四二 北支娘子関に取材
の「娘子関」第一回芸術院賞受賞 ●一九四七 白鶴美術協会展覧 ●一九五二
「小磯良平展」第二回門文化賞受賞 ●一九五三 五〇〇号の壁画「鶴くみ」制作 ●一九五五
神戶新聞平和賞第二回門文化賞受賞 ●制作 第三回現代日本美術展大賞受賞
●一九六〇 松屋で個展を開く ●一九六三 三月 小磯良平展を中林画院で開く ●米
国にもまわる ●小磯 東山自展を開く ●在 渡欧スケッチ展を中林画院で開く ●米
一九六三 小磯 東山自展を開く ●一九七三 三月 小磯良平展を中林画院で開く ●米
と兵庫県立近代美術館に於て開催 ●一九七四 三月 小磯良平展を中林画院で開く ●米
聖蹟完成記念展」を東京京王百貨店に於て開催 東灘区在住



婦人像 (65×65 cm)